

# 人間ドック・脳ドックの助成

助成額は、人間ドック2万6000円、脳ドック3万3000円の定額助成です。ドック費用の総額から助成額を引いた金額が自己負担額になります。

## 対象（左記の全てに当てはまる人）

- ・ 検査日からさかのぼって1年以上富士市国民健康保険の被保険者で、検査日まで引き続き加入している人
  - ・ 平成28年4月1日時点で満20歳以上の人で、後期高齢者医療制度に該当しない人
  - ・ 国民健康保険税を完納している世帯の人
- ※脳ドックの助成は3年に1度です。平成26・27年度に助成を受けた人は、平成28年度は助成を受けられません。
- ※年度中に助成が受けられるのは、特定健診（40歳以上の人）・人間ドック・脳ドックのいずれか一つです。
- ※全ての検査項目を実施しない場合、助成が受けられません。



## 申込方法

- 1 市が指定する検査機関（下表参照）に、国民健康保険の助成を受けることを申し出て予約する
- 2 助成申請し、助成券を受け取る  
申請期間 / 3月23日～12月16日 8時30分～17時15分（土・日曜日、祝日は除く）  
申請場所 / 国保年金課（市役所3階）
- 3 検査機関で受診する  
受診期間 / 4月1日～平成29年3月31日  
持ち物 / ②で受け取った助成券、保険証、検査機関から届いた問診票・検査用品、自己負担金など

助成の申請は必ず検査当日までに行ってください。申請前に受診した場合は、助成が受けられません。

## 検査項目

（各機関に共通するもの）

（人間ドック）

問診・診察、身体計測、血圧測定、視力・聴力検査、腹部超音波検査、心電図検査、眼底検査、肺機能検査、胸部X線検査、上部消化管検査、血液検査、尿検査、便潜血検査

※前立腺がん検診、肝炎ウイルス検診を受けられる検査機関もあります。

（脳ドック）

問診・診察、MRI・MRA検査、身体計測、血圧測定、心電図検査、胸部X線検査、眼底検査、尿検査、血液検査

## 後期高齢者の皆さんへ

後期高齢者医療制度の被保険者（75歳以上の人と、65歳以上で一定の障害のある人）で、保険料を完納している人は、人間ドック・脳ドックどちらかの助成を受けられます。ただし、同じ年度中に健康診査を受けると、ドックの助成は受けられません。申込方法や検査項目、自己負担額は国民健康保険の加入者と同じです。詳しくは、国保年金課 高齢者医療担当にお問い合わせください（☎55-2754）。

## 検査機関一覧

### ■ 脳ドック

検査機関（住所）	自己負担額	電話
市立中央病院（高島町50）	2万4,600円	52-1131
聖隷富士病院（南町3-1）	1万8,400円	52-0780
池辺クリニック（川成新町250）	7,500円	65-0250
富士いきいき健康サポートセンター（天間1640-1）	2万1,000円	73-1911
共立蒲原総合病院（中之郷2500-1）	2万4,600円	81-3324
ふじの町クリニック・健診センター（富士町12-12）	1万 200円	32-7812
ももはクリニック石坂（石坂420-1）	1万9,920円	22-0800

### ■ 人間ドック

検査機関（住所）	自己負担額	電話
富士市医師会医療センター（伝法2850）	1万5,040円	52-3111
三村クリニック健康管理センター（永田町2-60）	1万5,040円	53-0033
富士健診センター（柚木392-5）※1	1万2,880円	64-4421
宮下医院（平垣本町4-1）	1万4,000円	61-0376
川村病院（中島327）	1万6,120円	61-4050
富士いきいき健康サポートセンター（天間1640-1）	1万5,040円	73-1911
共立蒲原総合病院（中之郷2500-1）※2	1万5,040円	81-3324
新富士病院健康管理センター（大淵3900）※1※3	1万 800円	36-2211
ふじの町クリニック・健診センター（富士町12-12）※1	1万 180円	32-7812

※1 富士健診センター、新富士病院健康管理センター、ふじの町クリニック・健診センターの胃カメラの経口・経鼻は別料金が発生します（各3,240円〔要予約〕）。

※2 共立蒲原総合病院の胃カメラの経鼻は別料金が発生します（1,620円）。

※3 新富士病院健康管理センターは胃の検査方法をレントゲン検査にすると、自己負担額が変わります（4,300円）。

## 問い合わせ / 国保年金課保険給付担当

☎55-2751 ☎51-2521

※検査内容については、各検査機関にお問い合わせください。